

郵産労ユ安府支第17号
2021年11月1日

安芸府中郵便局長
四野 浩 殿

郵政産業労働者ユニオン
安芸府中支部長
杉谷 宏幸

2021年度年末年始業務運行に関する要求書および一般要求書

標記について、下記のとおり要求書を提出しますので、誠意ある回答を求めます。

記

<年末年始要求>

1. 「年末年始業務運行対策に関する労使間の意思疎通」のルールに基づき 13 項目について業務研究会を始める前に組合説明し、職場労使委員会で意思疎通を行うこと。また、安芸府中局「2021年度年末年始業務推進計画書」を組合説明前に渡し、昨年度からの変更点及び新規施策について詳細を明らかにすること。
2. 組合との支部交渉終了後に業務研究会を速やかに全社員対象で行うこと。
3. 管理者はサービス残業等発生することのないように勤務時間管理を徹底し、休憩・休息が確保できるように指導を徹底すること
4. 超勤・廃休の発令は、社員の体調に配慮し強制は行わないこと。
5. 社員の健康に配慮し、連続出勤は6日以内にする事。
6. すべての郵便関係社員に、1月1日から1月3日までの間に、最低1日以上の上の休暇を確保すること。
7. 12月31日から1月3日までは無超勤とすること。
8. 書留やゆうパック等は当日再配を中止し、翌日以降の再配とすること。
9. 年賀販売について、実需に基づかない買取の禁止や行き過ぎた営業強要・指導の禁止等、プライアンスを順守した適正営業の推進に向け、コンプライアンス研修を実施すること。
10. 短期バイト雇用、ゆうパック短期委託者雇用について説明すること。
11. ゆうパック短期委託者が突発休みでなく事前に休みを申し出ている日は、事前に勤務指定でそのエリアをカバーするよう社員配置すること。

- 1 2. 昨年、2 班エリアの通年ゆうパック受託者において時間指定の不遵守やオーバーフローとなった。受託会社において要員不足のないように対応を求めること。
- 1 3. 昨年、1 班混合の夜間指定の対応が困難との反省点がでていたので対策を講じること。
- 1 4. 昨年、混合担務が年内ゆうパックが多く、年賀補助が出来にくかったので対策を講じること。
- 1 5. 年末始の年賀・通常郵便物は2パス交付すること。また、広島中央局との調整が行われる機処理計画を早期に組合へ情報提供すること（特に年明け2パス処理）。
- 1 6. 配達資料整備、カラーカード作成等、早期の年賀準備を行うこと。
- 1 7. バイク・携帯端末・年賀備品等、事前に点検し不足することのないよう用意すること。また、事務機器、作業機器について消毒を徹底すること。
- 1 8. コロナ、インフルエンザ対策として、マスク・うがい薬・医薬品を点検・配備するとともに予防対策を説明すること。
- 1 9. 暖房計画を明らかにし、適切な暖房と換気対策、ソーシャルディスタンスを徹底すること。
- 2 0. 労働災害防止のための指導を徹底すること。
- 2 1. 21 時までには委託者が帰局処理できるようにすること。
- 2 2. 書留やゆうパック等の当日再配達を中止し、基本翌日以降の再配達とすること。
- 2 3. 年賀郵便物元旦配達結束打ち切り便は、12 月 30 日夜までとすること。
- 2 4. 年賀の年明け対策を説明し対策を講じること。また、年明け年賀2パス交付は平準化するよう広島中央局へ伝えること。
- 2 5. 混合、通配別の日別要員計画を説明すること。また、土曜日配達休止による年末年始繁忙の12月25日（土）12月26日（日）12月27日（月）1月1日（土）1月2日（日）1月3日（月）の要員配置を明らかにすること。
- 2 6. ゆうゆう窓口において、コロナ三密を避けるため補助応援や臨時窓口等の改善対策を講じること。昨年のクレームのような長蛇の列が出来ないようにすること。

<一般要求>

- 2 7. 郵便部内務・外務別の10月末現在の計画年休・自由年休取得数を明らかにし、状況説明すること。特に正社員の計画年休の残日数が多いと言われているが説明すること。
- 2 8. 10月から始まった郵便サービスの見直し（土曜休配において）の要員配置について、どう分析しているのか説明すること。特に土曜の混合要員配置を各班1名増とすること。
- 2 9. 土曜休配となったがことから、郵便部では休みの社員が多くいるので勤務指定の1週間前提示は遅くとも金曜には提示すること。